

事務事業名	地域コミュニティイベント支援事業(心あったか祭り)		所属部局	市民部		単位番号	4135					
			所属課室	白根窓口サービスセンター		課長名	野 澤 浄					
	☐ 実施計画事業		所属担当	白根窓口サービスセンター		担当者名	宮川 よし子					
基本政策	基本計画体系	I	情報と連携の都市づくり		予算科目	会計	名称	款	項	目	細目	細々目
政 策		02	地域ネットワークの充実		事業区分	01	一般	02	01	12	020	05
施策		03	地域コミュニティ活動への支援									
事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始年度 年度) 期間限定複数年度 (年度)		法令根拠	南アルプス市地域コミュニティイベント補助金交付要綱								
事務事業の概要	事業の内容・・・期間限定複数年度事業は次年度以降3年間の計画内容も記載 内容 11月3日(文化の日)に、収穫に感謝し、市民が集い楽しむ祭りを桃源文化会館で開催している。 祭りは、心あったか祭り、育成会の桃っ子祭りなどで合同開催し、内容は各地 区の子供たちの芸能発表、各種団体の紹介(菓草研究会、食生活改善推進 委員会)などの活動紹介、社協によるうどんの販売、友好都市(北海道津別町)との交流も行われている。					事業費の主な内訳 (24年度 決算見込) 項目(細節) 金額(千円) 項目(細節) 金額(千円) 協議会、協会、団体 1,050 補助金 計 1,050						

1 現状把握(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

① 活動	
24年度活動実績	実行委員会を立ち上げ、各種団体の出展希望を受け、育成会と連絡調整を行い開催する。
25年度活動予定	実行委員会を立ち上げ、各種団体の出展希望を受け、育成会と連絡調整を行い開催する。
② 対象(この事務事業は誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等	
・市民・各種団体	
③ 意図(この事務事業により対象をどのような状態にしていけるのか、どのように変えるのか)	
・育成会、各種団体の活動を知り、祭りを楽しみ、市民のふれあいを深める。 ・各種団体の発表の場が確保される。	
④ 上位目的(どのような結果に結び付けるのか)	
・地域コミュニケーションの充実 ・市民の自主活動の促進	

⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
ア・参加団体数	団体
イ・	
ウ・	
⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
ア・人口	人
イ・各種団体数	団体
ウ・	
⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
ア・来場者数	人
イ・参加団体数	団体
ウ・	
⑧ 上位成果指標(結果の達成度を表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
ア・地域としての連帯感を感じる割合	%
イ・各種団体登録者数	人

(2) 事業費・指標の推移				単位	23年度 (決算・実績)	24年度 (決算見込・実績)	25年度 (予算・目標)	26年度 (次年度計画・目標)	27年度 (計画・目標)	28年度 (計画・目標)	最終 (トータルコスト・目標)	年度
年間 トータル コスト	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円								
			県支出金	千円								
			地方債	千円								
			その他	千円	200	140	1,140	1,140	1,140			
			一般財源	千円	837	910	46	46	46			
	事業費計 (A)			千円	1,037	1,050	1,186	1,186	1,186	0	0	
	人件費	正規職員従事人数	人	11	10	9	10	10				
		延べ業務時間	時間	200	200	200	200	200				
		人件費計 (B)	千円	792	792	792	792	792	0	0		
	(A)+(B)			千円	1,829	1,842	1,978	1,978	1,978	0	0	
活動指標		アイ	団体	21.0	22.0	23.0	24.0	25.0				
		ウ										
対象指標		アイ	人	72,854.0	73,684.0	73,700.0	73,700.0	73,700.0				
		ウ	団体	21.0	22.0	22.0	22.0	22.0				
成果指標		アイ	人	1,000.0	1,000.0	1,000.0	1,000.0	1,000.0				
		ウ	団体	21.0	22.0	22.0	22.0	22.0				
上位成果指標		アイ	%									
		人	730.0	740.0	740.0	740.0	740.0					

(3) この事務事業を取り巻く状況(対象者・社会状況等)の変化、市民意見等

① この事務事業はいつ頃どんな経緯で開始されたのか？	・旧白根町で11月3日(文化の日)に、収穫に感謝し、市民が集い楽しむ祭りを商工会祭りと同時にH19年度まで桃源文化会館で開催していた。H20年度からは、商工会祭りが市の祭りへ移行し現在開催されている。
② 事務事業を取り巻く状況は開始時または5年前と比べてどう変化しているか？また、今後の予測は？	・市が中心となり祭りを行っていたが、H22年より実行委員会が運営を行なっている。 ・市より実行委員会へ補助金を交付している。今後も祭りを継続していく。
③ 事務事業に対して関係者(市民、事業対象者、議会等)からどんな意見・要望が寄せられているか？	・合併前から続いている祭りなので、市民は楽しみにしているので、今後も祭りを続けてほしいという要望がある。

(4) 改革改善の取り組み状況

① 改革改善の取り組み実施は？	☒ 取り組みしている ⇒【内容↓】 ☐ 取り組みしていない⇒【理由↓】
② これまでの改革改善の取り組み状況・経過(取り組みしていない場合はその理由)	・市が主体となって運営していた祭りがH22年より実行委員会が主体となって運営している。 ・市は実行委員会へ補助金を交付している。
③ H 24年度に実施した改革改善の内容	・H23年はPRを行い出店数を増やすことができた。 ・H23年から区長会が実行委員会に加入し、地域コミュニケーションの充実を図ることができた。

事務事業名	地域コミュニティイベント支援事業(心あったか祭り)	所属部	市民部	所属課	白根窓口サービスセンター
-------	---------------------------	-----	-----	-----	--------------

2 評価(Check1)担当者による事後評価(複数年度事業は途中評価)

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系の施策に結びつき、貢献しているか？意図が上位目的に結びついているか？	☐ 結びついていない(見直し余地がある) ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 結びついている ⇒【理由↓】 ・H22年より実行委員会を立上げ、市民が自主的に祭りを運営、地域コミュニケーションの充実を図っている。
	② 公共関与の妥当性 この事務事業を税金を投入して市が行わなければならないのか？ 民間やNPO、市民協働に移行することは可能か？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 妥当である ⇒【理由↓】 ・旧白根町から続いている祭りであり、市民も祭りを楽しみにしており、市民自から実行委員会を立上げて運営を行っている。 事務事業の全部もしくは一部を外部に移行することが可能である。 ☐ 民間・NPO ☐ 市民協働
	③ 維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、この事務事業を将来にわたり、維持・継続していくことは妥当か？目的や事業の必要性を見直す余地はあるか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 適切である ⇒【理由↓】 ・H22年より実行委員会を立上げ、市民が自主的に祭りの運営をしている。 ・旧白根町時代より続いている祭りであり、市民も楽しみにしているので見直しの余地がない。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 今後さらに事務事業の成果を向上させることはできるか？できない場合は何が原因でできないのか？	☐ かなり向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ ある程度向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☐ 向上余地がない ⇒【理由↓】 ・祭りへ参加する人を増やすために、今後も内容の検討を行なっていく必要がある。
	⑤ 類似事業との統廃合・連携の可能性 類似した目的を持つ事務事業が他にあるか？類似事務事業がある場合、その事務事業との統廃合や連携を図ることはできるか？	☐ 類似事務事業がある ⇒(類似する事務事業の名称を記入↓) ☐ 統廃合・連携ができる ⇒【理由と具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 統廃合・連携ができない ⇒【理由↓】 ・地区で行っている祭りで、市民が手づくりで作りあげた祭りなので、統廃合はしないほうがよい。 ☐ 類似事務事業がない
	⑥ 休止・廃止した時の影響及び休止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した場合影響はあるか？また成果から考えて、休止・廃止することはできるか？	☒ 影響なし ☐ 休止・廃止ができる ☐ 影響あり ⇒【理由と影響の内容↓】 ☒ 休止・廃止できない ⇒【理由↓】 ・市民が楽しみにしている手づくりの祭りなので、廃止はできない。 ・市民が楽しみにしている手づくりの祭りなので、廃止はできない。
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費(コスト)を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	☐ 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 削減余地がない ⇒【理由↓】 ・市からの補助金により、実行委員会が祭りを運営している。又、H20年度予算を検討して、大幅に削減をしている。
	⑧ 人件費の削減余地 成果を下げずに人件費を削減できないか？(事業のやり方の見直しによる業務時間の削減や臨時職員対応や外部委託による削減はできるか？)	☐ 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 削減余地がない ⇒【理由↓】 ・現在、祭りの実行委員会に関する職員数は、必要最小限の人数で携わっている為、削減できない。
公平性 評価	⑨ 受益機会・受益者負担の適正化余地 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担を見直す必要はないか？公平公正か？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 公平・公正である ⇒【理由↓】 ・祭りの実行委員会に対して補助金を交付している、公平・公正に市民に対して、ふれあいの場を提供している。

3 評価(Check2)担当課管理者による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 1次評価の総括(事務事業を実施した結果を振り返り気づいたこと、課題、今後の方向性等について)
① 目的妥当性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ② 有効性 ☐ 適切 ☒ 見直し余地あり ③ 効率性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ④ 公平性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり	・旧白根町時代に当地区の祭りを統一し、収穫に感謝する「ありがとうの心」と市民相互が「心温まるふれあい」の場として、市民が集い、楽しむ祭りとして、11月3日の文化の日に桃源文化会館を中心に「ありがとう 心あったか祭り」を開催し、地域コミュニケーションの推進を図っている。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事務事業の方向性(Check1の結果から定める)・・・複数選択可 ☐ 廃止(目的妥当性①、②、③の結果) ☐ 事業統合・連携(有効性⑤の結果) ☐ 公平性改善(公平性⑨の結果) ☐ 休止(目的妥当性①、②、③の結果) ☒ 成果向上(有効性④の結果) ☐ 現状維持(全評価項目で適切) ☐ 必要性検討(目的妥当性①、②、③の結果) ☐ コスト削減(効率性⑦、⑧の結果)		(3) 改革・改善による方向性 <table><tr><th colspan="2" rowspan="2"></th><th colspan="3">コスト水準</th></tr><tr><th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr><tr><th rowspan="3">成果水準</th><th>向上</th><td>☐</td><td>☒</td><td>☐</td></tr><tr><th>維持</th><td>☐</td><td>☐</td><td></td></tr><tr><th>低下</th><td>☐</td><td></td><td></td></tr></table> ※ 廃止・休止の場合は記入不要				コスト水準			削減	維持	増加	成果水準	向上	☐	☒	☐	維持	☐	☐		低下	☐		
		コスト水準																						
		削減	維持	増加																				
成果水準	向上	☐	☒	☐																				
	維持	☐	☐																					
	低下	☐																						
(2) 改革改善案について ①市民主体の手づくりの祭りとして開催する意識を持ってもらい、地域コミュニケーションの推進を図っていく。 ②実行委員会が自主的に運営できるように組織強化すると共に多くの市民団体に声かけを行い参加を呼びかける。		(5) 事務事業優先度評価結果 <table><tr><td>成果優先度評価結果</td><td>対象外</td></tr><tr><td>コスト削減優先度評価結果</td><td>対象外</td></tr></table>		成果優先度評価結果	対象外	コスト削減優先度評価結果	対象外																	
成果優先度評価結果	対象外																							
コスト削減優先度評価結果	対象外																							
(4) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策 ①市民主体で開催するために、祭りの実行委員会のリーダーを育成していく。 ② ③																								